

障がい者 福祉情報

155号 2020年8月

編集・発行

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

〒816-0804 春日市原町3丁目1番地7

クローバープラザ

TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

<http://www.fuku-shakyo.jp/kouhou/kouhou.html>

新型コロナウイルス感染症への対応について

2020年に入り、日本を含めた全世界で新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされており、予断を許さない状況が続いています。手洗いやうがい、マスク着用、アルコール消毒等、国民一人ひとりが感染拡大を防止する取り組みに努めました。その間、4年に1度のオリンピック・パラリンピックは延期となり、様々なイベントは中止や延期が相次ぐなど、先の見通しが立たない不透明な状況が現在も続いています。このような中で、私たちの暮らしも新型コロナウイルス感染症に対応した生活が求められています。

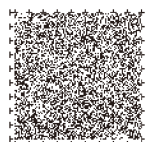
そこで、今号では改めて厚生労働省や福岡県が示している「新しい生活様式(ライフスタイル)」や一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会が作成している「新型コロナウイルスにかからないようにするために」をご紹介します、うつらない、うつさないために注意すべきことを確認していきます。

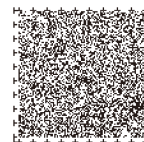
【新型コロナウイルス感染症】(COVID-19)とは？

新種のコロナウイルスによって引き起こされる感染症。2019年12月頃に中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がっていった。新型コロナウイルス感染症は、発熱(37.5℃以上)、喉の痛み、咳、痰などの風邪のような症状で終わる場合が多いが、高齢者や基礎疾患がある方は重症化しやすく、4日以上発熱、胸部不快感、呼吸困難などが表れ、肺炎へ進展する事がある。

もくじ／通巻155号

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応について…………… 1～4
- ・ お知らせ…………… 4～6
- ・ ほんだな…………… 7
- ・ 福岡県障がい者福祉情報ハンドブック2020 案内…………… 8





(ウイルスは小さくて目では見えません)
**新型コロナウイルス
 にかからないように
 するために**

新型コロナウイルスにかからないようにするため、また誰かにうつしてしまわないように、注意することとして、次の9つの項目にご注意ください。

①せっけんでしっかり手を洗う

家に帰ったときやごはんを食べる前には、せっけんで手を洗いましょう。

指の間、指の先、親指、手首などもしっかりと洗いましょう。

②手を消毒する

せっけんで手を洗えないときは、アルコールなどの消毒液で消毒しましょう。消毒液を手にかけて、手のひら、指、指の間、親指、手首をしっかりとこすります。

③手で顔をさわらない

手にはウイルスが付いているかもしれません。口や鼻、目はさわらないようにしましょう。

④せきやくしゃみをするときは、ハンカチを使う

せきやくしゃみが出るときは、ハンカチやタオルで鼻と口をおおきましょう。

マスクがあれば、マスクをしましょう。

⑤ドアノブや手すりなどを消毒する

ウイルスは、金属やプラスチックの表面に長く残ります。

ドアノブや手すり、テーブル、携帯電話など、手でよくさわるところはアルコールなどで消毒しましょう。

⑥人が集まるところには行かない

ウイルスは、人から人にうつります。人が集まるところには行かないようにしましょう。

⑦話をするときは2メートルほど離れる

他の人と話すときは、2メートルほど離れましょう。2メートルは、大人が両腕を広げたくらいの

長さです。必要なことは、電話やメールで伝えるとよいです。

⑧遊びに行くのは少しがまん

旅行やおでかけなどは少しのあいだがまんしましょう(新型コロナウイルスがおさまったら、思いつき遊びましょう！)。

⑨具合が悪いと思ったら家から出ない

熱があつたり、咳やくしゃみが出たり、息苦しかったり、いつもより体調がよくないと思ったら、家から出ないようにしましょう。

(出典…一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会)



手を洗おう



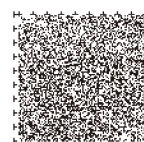
消毒しよう

新しい生活様式 (ライフスタイル)

自分、家族、周りの方と社会を守るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防しましょう。また、マスク着用による熱中症にも気を付けながら感染症対策をしましょう。

- ・食事は対面でなく横並びで。
- ・マスクを着用。まめに手洗い。
- ・レジに並ぶときは、前後をあける。(2メートル)
- ・キャッシュレスでの決済を活用。
- ・通販も利用する。
- ・持ち帰り・デリバリーも利用する。
- ・公共交通機関は混む時間帯を避ける。
- ・公園は空いた時間、場所を選ぶ。

最新の情報は **コロナ 福岡県庁** で検索



新型コロナウイルス 接触確認アプリ（C COCA※）を開発

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症対策テックチームと連携して、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCO※）を開発しました。この接触確認アプリは互いに分からない形で接触した可能性について通知を受けることができる仕組みです。

※ COVID-19 Contact Confirming

Application

本人の同意を基に、スマートフォンとの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分らないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。

利用者は、陽性者と接触した可

能性が分かることで、

検査の受診など保健

所のサポートを早く

受けることができます

す。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されています。

（App StoreまたはGoogle Playで

「接触確認アプリ」で検索し、インストールしてください。）

【Google Play】

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

【App Store】

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

新型コロナウイルス 対策の中で、見えて きた課題

新型コロナウイルス感染症はまだまだ予断を許さない状況で、先が見えない不安に駆られる時もあると思います。

このような状況下、自主的にマ

スクをつけていない方を指摘する

方々も現れています。しかし、幼

い子や、障がいのある子は、親が

つけさせようとしても、すぐに外

してしまったり、皮膚過敏症の方もあります。聴覚障がいのある方は、口の動きや表情をみて、相手が何を伝えようとしているのかを理解します。マスクをつけたくても、つけられない方がいる、その方の背景を理解することも必要です。

また、視覚障がいのある方は、外出する際、支援者の肘等を触る必要があります。どうしても密になつてしまつたため、相手から嫌がられてしまつ、外出する事が難しくなつていくという事例も出てきています。

さらに、イベント関係の中止や延期が相次ぎ、就労支援事業所で働く障がいのある方の収入や仕事量が少なくなつてしまつたりと、これまでの生活が成り立たなくなる等、様々な弊害が出てきています。

ここまで新型コロナウイルスに、かからないために注意すべきこと、新しい生活様式や、接触確認アプリ等を紹介してまいりました。

また、テレビや新聞等、様々な広報媒体が、連日のように新型コ

ロナウイルスに対する脅威や警鐘を鳴らしていますが、最善の努力をしてもかかってしまうこともあります。

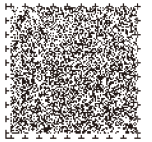
新型コロナウイルスにかからないよう努力することは大切なことです。が、かかってしまった自分が悪い、かかった人が悪い、ということは絶対にありません。

また、最前線で必死に闘っている医療関係者や福祉関係者、海外から帰国された方、外国の方に対して、差別、排除する。という事も絶対に許されることではありません。

そのために、その方が抱えている背景を想像し、理解し、思いやる気持ちを持つ事が大切です。

最前線で闘っている方々に感謝し、今、自分にできることは何かを考える、先が見えない状況だからこそ、いたずらに怖がるのではなく、正しい情報に基づき、冷静に考え、行動することが、求められています。

今、それぞれの団



体が、どうすれば最善の方法が取れるのか、模索し、考え、試みています。

何が正解なのかは、今後の検証が必要なかもしれませんが、新しい環境の下、一つ一つ積み重ねていくことが重要です。



お知らせ

もっと知って「ほじょ犬」

(身体障害者補助犬)

「ほじょ犬(身体障害者補助犬)」は、目や耳や手足に障がいのある人の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことです。

ほじょ犬は障がいのある人のパートナーであり、様々な場所での受け入れが、身体障害者補助犬法により義務づけられています。

きちんと訓練されているので、社会のマナーも守れますし、管理も行われているので、清潔です。

だからこそ、人が立ち入ることのできるさまざまな場所に同伴できます。

ほじょ犬についてご理解、ご協力を願います。



「ほじょ犬」マーク

もっと知って

「白杖SOSシグナル」



このポーズは、視覚障がいのある人が街中で迷ったり、不安や危険を感じたりしたときに、周りの人に助けを求める時のシグナルです。

視覚障がいのある人が安心して暮らせる社会となるよう、このポーズを見かけたら、すすんで声をかけ、困っていることなどを聞き、手助けしてください。

また、駅のホームや路上などで視覚に障がいのある人が危険に遭遇しそうな場合は、白杖によりSOSシグナルを示していても、声をかけ、手助けしてください。

白杖SOSシグナルについて、ご理解、ご協力をお願いします。

ご存知ですか？

『ヘルプマーク・ヘルプカード』



目や耳、言語の障がい、内部障がいや難病、知的障がい、精神障がい、認知症など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせる『ヘルプマーク・ヘルプカード』を配布しています。配付場所等の詳細については、福岡県ホームページ(QRコード)をご覧ください。



福岡県ホームページ





街中で『ヘルプマーク・ヘルプカード』を身につけている方を見かけたら、声をかけて必要なサポートをお願いします。



ふくおか
インターネットテレビ

また、実際にヘルプカードを持つている方やこれから活用したいと思っている方にお話を伺い、どのような配慮を必要としているかを、ふくおかインターネットテレビ（QRコード）で紹介していきますので、ぜひ、ご覧ください。

福岡県障がいを理由とする差別の解消および合理的配慮推進のための体験・交流事業

県では、障がいを理由とする差別を解消し、共生社会を実現するため、サービスの提供や雇用を行う事業者が、障がいの体験や障がいのある人との交流を通じて、障がいのある人に対する不当な差別的取扱いや合理的配慮等「障がい」への理解を深める研修を実施しています。

昨年度の事業実施レポートをホームページ（QRコード）に掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。



《掲載レポート》

- ① サービス従事者研修（福岡市内街歩き）
- ② 多様な人材を雇用する現場視察研修（ASKULLO GIST株式会社、株式会社障がいの者（くし）更生会）
- ③ 特別研修（株式会社スターフライヤー職員向け、北九州空港）

「まごころ製品」に関する取り組みについて

福岡県では、障がいのある人の自立を支援するため、障がいのある皆さんがつくる製品や提供するサービスを「まごころ製品」と名付け、その販売と提供を通じて、障がいのある皆さんの収入向上に取り組んでいます。

その取組みの一部をご紹介します。

① 「まごころ製品」ロゴマーク

「まごころ製品」の販売や提供の際に商品に貼ったり、PRに利用するためのロゴマークを作成しています。

本マークは、無料でどなたでも使用できます。使用にあたっての申請も不要です。

※ロゴマークデータや使用規約等の詳細については、県のホームページをご覧ください。

(<https://www.prefukuoka.lg.jp/contents/magokorologomark.html>)

ロゴマーク

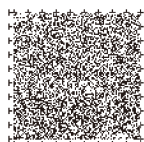


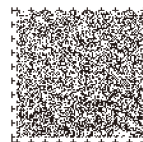
② 「まごころ製品」ショップ&デスク

特定非営利活動法人セルフセンタ―福岡が運営する「まごころ製品」ショップ&デスクが福岡県庁地下1階で営業しています。

ショップでは、弁当、パン、お菓子、飲料、文房具、日用品などを販売しているほか、クリーニングのサービスも受け付けています。

またデスクでは、営業担当が常駐し、企業、官公庁や個人から、印刷、清掃、各種記念品製作等のサービスをワンストップで受け付け、複数の障がい者施設で協力して対応する





ことで、一つの施設では対応が難しかった大口の注文や早期の納品に対応しています。

「まごころ製品」の注文がインターネット上で出来るウェブサイトもあります。

ぜひ、ご利用ください。

ショップ&デスク

営業時間…9時から18時まで

(土日祝日、お盆・年末年始除く)

場所…福岡県庁地下1階南棟東側

(福岡市博多区東公園7番7号)

TEL・FAX

092-632-7100

電子メール…

fukuokakakyodo@utopia.ocn.ne.jp

ウェブサイト

(<http://magokoro-ichiba.jp/>)



2020ふくおか県 障がい児者美術展

本県では、障がいのある方のさらなる制作意欲の向上を促進し、

県民に対して、障がいのある方が持っている多様な能力・才能に触れる機会を提供することを目的に

「ふくおか県障がい児者美術展」を開催します。美術展で展示する

作品を、9月11日(金)まで募集しています。

【応募資格】
福岡県在住または福岡県に通勤・通学(所)している障がい児・者の方です。

【応募要領】
・部門 絵画、書道、写真

・テーマは応募者の自由とします。

【問い合わせ先】

ふくおか県民文化祭実行委員会

事務局

TEL 092-643-3383

FAX 092-643-3347

※応募方法等詳細については、ふくおか県民文化祭のホームページ

※応募方法等詳細については、ふくおか県民文化祭のホームページ

※応募方法等詳細については、ふくおか県民文化祭のホームページ

ジをご覧ください。

(<http://www.kenbunsai-fukuoka.jp/topics/detail/42>)

福岡アスリート
応援企業支援事業

本県では、障がいの有無に関わらず、県内で競技を継続しながら、就職を希望するトップアスリートと、県内に事業所を有し、アスリートの雇用を希望している企業をマッチングする事業を行っております。

※詳細についてはQRコード(福岡県ホームページ)をご覧ください。



パラスポーツ用具の貸出

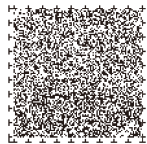
本県では、県有施設において、無料でパラスポーツ用具の貸出を行っています。

【パラスポーツ用具貸出場所】

アクシオン福岡、クロバープラザ、名島運動公園・春日公園・久留米総合スポーツセンター・筑後広域公園、筑豊緑地の各テニス場

※詳細についてはQRコード(福岡県ホームページ)をご覧ください。





ほんだな

福祉情報センターでは、福祉に関する図書・ビデオの閲覧・貸出を行っています。

- 利用時間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日・第4月曜日は除く）
- 貸出 図書・ビデオ・DVD 合計10点まで
※貸出の際は、クローバープラザ利用者カードが必要です。
※遠方の方や外出が困難な方のために配送での貸出返却も行っています。（送料実費負担）
- 貸出期間 2週間以内
- 問い合わせ先 福祉情報センター ☎816-0804 春日市原町3丁目1番地7
クローバープラザ東棟2階
TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

大丈夫、働けます。
成澤 俊輔 著 出版：ポプラ社



就労困難者支援のエキスパートで、経営コンサルタントでもある著者が伝える、“人”と“会社”が幸せになる仕事の創り方。

5人の仲間のエピソードを紹介、また著者は自らを「世界一明るい視覚障がい者」と呼び、障がい者雇用や、多様な働き方を専門に、講演やコンサルティングを行っています。

大人の発達障害を的確にサポートする！
星野 仁彦 監修 出版：日東書院



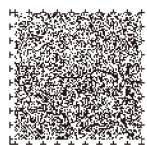
大人こそ注意したい発達障害。

うつ病や依存症につながりやすい大人の発達障害と向き合う一冊です。発達障害は決して珍しくない？見過ごされている大人の発達障害としっかりと向き合う方法と、適切な治療法を紹介、解説します。

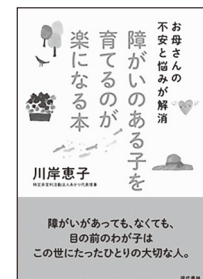
にほんごがこんなふうにみえたのよ！
山崎 明夫 著 出版：QOLサービス



39歳の時に脳出血で倒れ、片麻痺・失語症となった著者が書いた7年間のブログ&4コマが本となりました。ご本人でないと分からないこと、「疾患」をもちながら送る日々のエピソードが綴られています。前向きな気持ちや気づき、励ましを与えられる、読む人の心を打つ一冊です。



障がいのある子を育てるのが楽になる本
川岸 恵子 著 出版：現代書林



発達障がい、自閉症等といった障がいのある子のお母さんは、わからないことだらけです。

著者は、障がいのある我が子を育てた経験をいかし、障がいのある子どもたちを受け入れる施設を運営。障がいのある子どもの幼児期の教育から就学準備、学校生活、社会の自立までを、やさしく解説した内容です。

福岡県障がい者福祉情報 ハンドブック2020

発売中

発行 福岡県社会福祉協議会（福岡県福祉情報センター）

価格 1部 1,300円（税込） A4判 489頁

★障がい者福祉制度・施策を満載

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 手帳制度 | 8 就労 |
| 2 保健・医療・衛生 | 9 まちづくり・ボランティア |
| 3 日常生活援助 | 10 住宅 |
| 4 教育・育成 | 11 移動・交通 |
| 5 療育・訓練 | 12 教養・余暇・スポーツ |
| 6 年金・手当 | 13 情報・通信・コミュニケーション |
| 7 税金 | |

★県内における障がい福祉サービスの利用状況等を掲載

★県内全市町村の実施する地域生活支援事業・地域生活支援促進事業を網羅

- | | |
|---------------|--------------------|
| ・ 相談支援事業 | ・ 移動支援事業 |
| ・ 意思疎通支援事業 | ・ 地域活動支援センター機能強化事業 |
| ・ 日常生活用具給付等事業 | ・ その他の事業 |

★各種相談窓口、施設名簿、地域活動支援センター等を掲載

購入を希望の際は、下記窓口にお越しいただくか、申込書に必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送でお申込みください。

障がい者福祉情報ハンドブック2020 申込書			
申込部数	部	× 1,300円 + 送料 が御請求額になります。	
氏名・団体名			担当者名
送付先	〒		
TEL		FAX	
備考			

送 料：1部まで 616円（九州内※離島除く）、2部以上4部まで 748円
5部以上及び九州外、離島の送料は、下記へ問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】

福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 人材・情報課
〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟2階
TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

